

講義名	観光社会学			
担当教員	濱田 武士			
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 5時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要

観光は、人びとが日常生活を送る場所から一時的に離れて、余暇を過ごす行為です。しかし、現代では、観光は個人が余暇を過ごすためのひとつとしてだけでなく、様々な側面を持つ現象といえます。観光は、まず、観光産業や観光開発に伴う経済現象です。国土交通省は、2003年度から「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を実施し、諸外国での広報、国内での外国人旅行者に向けたインフラ整備を行っています。また、自治体をはじめとした様々なアクターが、地域の活性化のために、新たな観光資源を開発する試みを行っています。こうしたなかで、地域自体が変容し、観光を通じた新たな消費スタイルが生まれています。このように、観光は、経済、政治、文化といったさまざまな側面をあわせもつ社会現象といえます。この意味で、観光はすくなく社会的なテーマなのです。この講義では、観光に対してどのような社会的なアプローチができるのかを検討していきます。

到達目標

みなさんがこの授業を通じて習得することを目標とする目標は次の5点です。

- 1) 知識・理解：観光に関わるトピックをそれぞれの歴史的背景を踏まえて理解することができるようになる。
- 2) 思考・判断：観光に関わる様々な社会現象を観察し、立場や目標の異なる人びとのかかり合いによって成立していることを理解することができるようになる。
- 3) 関心・意欲：日常生活を観光という観点から捉えることにより、観光の今後や未来について考えることができるようになる。
- 4) 技能・技術：観光産業に関連する様々な人びとを総合的に把握する能力をもとに発想することができるようになる。
- 5) その他：観光社会学以外で習得した専門的知識を総合的に用いて観光の現在を把握することができるようになる。

提出課題

講義内容の理解を深めるために、各回のテーマに関連したお題を提示し、250字程度で回答をまとめる「授業課題」を作成してもらいます。書き方、ポイントなどについてはそのつど説明します。この授業課題は期末にまとめて提出してもらいます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

Eメールにて授業課題、期末レポートのフィードバックを行います。

評価の基準

平常点（授業課題）、期末レポートにより総合的に評価します。

- ・ 授業課題 70%
- ・ 期末レポート 30%

いずれも書き方、ポイントが授業の際に説明します。履修各級によって、評価の基準を修正する場合があります。

履修にあたっての注意・助言他

特にありません。

教科書	.使用しない。			

プリント資料及び参考文献

担当者作成のプリントを配布します。
参考文献については適宜指示します。

- 授業計画**
1. 観光（ガイダンスとイントロダクション）
キーワード：安全、観光開発、観光資源
 2. 空間の商品化（総括的な内容）
キーワード：観光の空間、商品化された観光空間
 3. 観光と他者（総括的な内容）
キーワード：異文化、観光客、観光地の住民
 4. 観光とグローバル化（総括的な内容）
キーワード：国際観光、ローカル文化、観光文化
 5. 巡礼行動（事例を中心とした内容）
キーワード：道徳、宗教的巡礼、巡礼の観光化
 6. 真正性（事例を中心とした内容）
キーワード：伝統文化と創造、伝統文化の複製性、アイデンティティ
 7. スーパーニール論（事例を中心とした内容）
キーワード：あみやが、一つの世界、コレクション
 8. 観光のまなざし（事例を中心とした内容）
キーワード：記号、観光地化、観光の終焉
 9. 観光開発（事例を中心とした内容）
キーワード：観光開発の歴史、パドックス、湯沢（新潟県）、小樽（北海道）
 10. エコツーリズム（事例を中心とした内容）
キーワード：グリーンツーリズム、ネイチャーツーリズム、持続可能（性）
 11. 景観（事例を中心とした内容）
キーワード：リゾート観光開発、地域づくり、景観保全
 12. 文化遺産（事例を中心とした内容）
キーワード：文化遺産制度の歴史、拡張と加速、観光と文化遺産
 13. ポストコロナル文化（事例を中心とした内容）
キーワード：バウ（インドネシア）、沖縄
 14. 観光の視覚化（総括的な内容）
キーワード：観光の視覚化、想像/移動/記録/想起
 15. まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：毎回の授業テーマのキーワードについて新聞、ニュース、インターネットの記事などから情報収集し、自分なりのイメージをもって授業に望む必要があります。情報の調べ方は授業の最後に指示をします（2時間/回）

復習：毎回の授業の最後に提示するお題に対して、授業の内容を踏まえて回答する授業課題（250字程度でまとめる）に取り組んでください。（2時間/回）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この授業は多様な観光現象についての学びと、観光が社会の変容に関わっていることについての学びを含んでいます。観光はその時々々の社会状況と密接に関連し、たとえ一時的に衰退したとしても、新たな観光の形態が生まれ新たな産業と様々な交流が生じます。この授業では、観光を個人が余暇を過ごすためのひとつとしてだけでなく、経済、政治、文化といったさまざまな側面をあわせもつ社会現象ととらえ、このなかで立場や意見の異なる様々な人びとや取りに着目することを通して自身が社会の一員であることについて深く理解することができます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの修正が発生する可能性があります。